

山のトイレ協議会通信

第5号



オオキツネノカミソリ

(井原山・水無)

目次

第2回 定期総会 報告	・・・2
宝満山バイオトイレの使用状況	・・・3
記念講演・森 弘子「山と信仰」	3～4
宝満山山開き	・・・5
井原山（水無）トイレ利用者	・・・5～6
感想・英彦山トイレ調査に参加して	・7
井原山・看板設置作業に参加して	
運営委員会だより	・・・8
県民清掃ハイクへのお誘い	

山のトイレ、環境を考える福岡協議会

第2回 定期総会 報告

去る6月19日(土)午後1時から太宰府市の「太宰府館・まほろばホール」で開催されました。竈門(かまど)神社・禰宜



(司会の松大路さん)



(太田運営委員長)

で運営委員でもある松大路秀一さんに司会をお願いし、山上 司 会長の開会の挨拶の後、当協議会の団体役員である福岡県勤労者山岳連盟の平田真介さんを議長に選出して議事に入りました。

まず、運営委員長の太田 勝さんから平成22年度の活動報告があり、種々の活動実績について個別に説明をされました。(その内容については、各会員に事前に送付した総会の案内に同封したのでここでは割愛します。)

引き続き、運営委員の高松登志子さんから会計報告がされましたが、共に拍手を以って承認されました。

また、次年度の活動計画、予算についても太田委員長から説明があり、問題なく承認されました。



(挨拶する山上会長)



(議長・平田さん)



(会計報告・高松さん)

◎ 役員改選

運営委員の一部に変更があり、太田運営委員長から次年度の委員について提案がされ、次のとおり承認されました。

会 長 山上 司 (福岡県山岳連盟 理事長)

運営委員長 太田 勝 (九州登山情報センター 理事)

運営委員

貞刈 誠 (福岡県山岳連盟)

伊藤 博紀 (西鉄山友会 会長)

豊福 利信 (西鉄山友会 副会長)

松大路 秀一 (竈門神社 禰宜)

副島 勝人 (日本山岳会 福岡支部長)

山本 博 (アルパ九州 副会長)

大塚 三紀夫 (福岡県勤労者山岳連盟 副会長)

大庭 常生 (日本山岳会 北九州支部長)

大日方 武男 (九州の原生林を守る福岡の会)

矢田 啓祐 (あだると山の会)

高松 登志子 (あだると山の会)

会計監査 貞方 岩戸 (竈門神社・権禰宜)

宝満山バイオトイレの使用状況について

今回も、実質的に管理運営されている西鉄山友会の伊藤会長に報告を頂きました。

(説明に使用されたデータは「通信(第4号)」に掲載しております。)

西日本鉄道(株)の全面的資金援助により建設され、運用開始されて、8月5日で丸2年になるそうです。昨年1月～12月までの1年間の利用者は実に24,020名、平日の平均は48名、日曜日では148名ですが、処理能力の面では問題なく十分対応出切るとのことです。

故障などの原因ともなる生理用品の投棄については大幅に減少しているとのことでした。登山者のマナーの向上に加え、持ち帰りが出るマナー袋をトイレに置いていることも減少に貢献しているようです。

- *「マナー袋」は(株)ムッシュから無償提供されています。
1セットに2枚の密封出きる袋が入っています。



(伊藤西鉄山友会々長)

「山の日」の制定

運営委員で、日本山岳会福岡支部の副島支部長から、総会資料に同封したパンフレット「山を考える」を使い、運動の趣旨、経緯など説明がありました。

昨年、日本山岳会で「山の日制定」に対する気運が高まり、今年になって、日本山岳協会、日本勤労者山岳連盟、日本山岳会、日本山岳ガイド協会、日本ヒマラヤン・アドベンチャー・トラストの5者により「山の日制定協議会」が創設されたとのことでした。

日々の生活、文化に結びついた山の恵みに感謝するとともに、美しく豊かな自然を守り、育て、次世代に引き継ぐことを国民すべてが銘記する日とするため、「国民の祝日」として「山の日制定」を提案しているとのことでした。

その趣旨は、当協議会の目的とも共通しています。今後の活動を見守りながら当協議会の活動の中でも取り組んでいきたいと考えています。

記念講演 ・ 森 弘子 氏 (太宰府発見塾・塾長)

演 題 「山 と 信仰」

森さんは九大大学院に入学され、「宝満山の環境歴史学的研究」で博士号を取得され、宝満山の研究をライフワークにされつつも、「山と信仰」について幅広く探求されてきた成果の一部を披露いただくことにしました。

森さんから、宝満山山麓周辺の急激な開発に加え、急増する登山者やそのマナーなど、昔と比べ、随分様変わりしてきたように感じられ、山の保全について考えていきたい、と「環境歴史学」に取り組み始めたとの自己紹介をいただくとともに、今回は映像を使って楽しくいきたい！とのコメントも。



会場前面の大きなスクリーンにプロジェクターから映し出されたのは「点の記」のポスター！（会場一瞬どよめく！）

これだけで参加者は森さんのお話に引き込まれていきました。

出演した俳優と共に、剣岳に三角点を設置するために山頂を目指す陸軍の測量隊とマタギ、

対抗して登頂一番乗りを！と競争心を燃やす日本山岳会。結果は映画を鑑賞された多くの方がご存知のとおりです。

ただ、それを知った日本山岳会は手旗信号で登頂成功を祝福した、という単に「征服ありき！」ではないロマンを感じさせるお話です。我国では、古来より登山という概念は無く、中でも峻険な山は殆どと言って良いほど靈山としての崇めの対象、つまり信仰の対象であり、修験の場であるか、山を生活の場とするマタギの世界であったようで、一般の人が深い山に分け入ることは殆ど無かったようです。明治以降、西欧のスポーツとして「山を征服する」ことを目的とする「登山」が普及していきましたが、一方で装備、技術なども飛躍的に進歩し今日に至っています。

森さんは、映画・点の記にも出てきた実物の錫杖を振ってジャラジャラ！と音を立ててみせられました。これがすでにあったということは修験者がすでに開山していた証であり、明治以降、山頂を目指すことを目的とする登山と、山岳信仰との歴史の大きな差異を感じた一コマでした。

九州の宝満山、英彦山、求菩提山などに止まらず、遠く、立山、春日山、富士山、出羽三山など山岳信仰の歴史についても詳しく話されました。古からこれらの山々を、田畑を潤す水の供給源として、或いは「雪形」を種の蒔き時、苗の植え付けの時期の目安として崇め、願いの対象とする農村との関わりもあり、この貴重な自然を守り、次世代に引き継いでいきたいものです。



（講演者・森 弘子さん）

平成 22 年度（6 月以降）の活動状況

*宝満山山開き

7月25日（日） 午前11時、山頂の竈門神社上宮において、上野権禰宜により山開きにあたり、安全祈願の神事が執り行われました。

日差しも強く、気温も高かったのですが、運良く？神事の間は薄雲がかかり、それほど暑さを感じない内に無事終了しました。

直会はこの後キャンプセンターの広場で西鉄山友会の好意により、三つの大鍋たっぷりのおでんが振舞われました。

夏休み最初の日曜日でもあり、家族で遠出されたのか、暑いせいなのか分かりませんが行き交う登山者の数も日曜日の割には多くなく、キャンプセンター前の広場でくつろぐ登山者も思っていたより少なめでした。

正面登山道の2ヶ所の休憩所で「山のトイレマナー袋」を配布し、キャンプセンター経由で山頂での神事に参加し、玉串を奉奠させていただきました。（事務局・矢田）



（上宮での神事）



暑い時のオデンも・・・

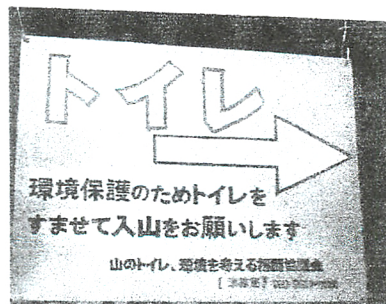
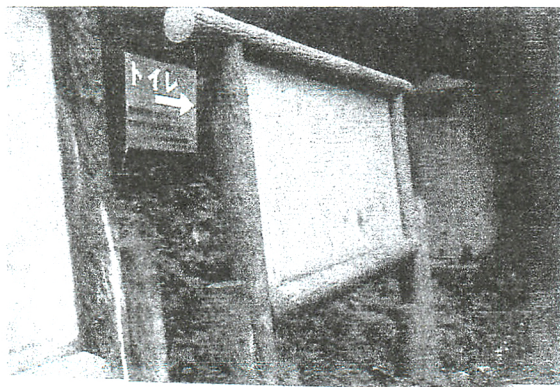
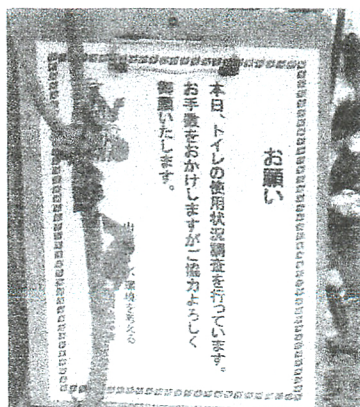
*井原山（水無登山口）入山者およびトイレ利用者数調査

調査日 7月31日（土）・8月1日（日）・8月5日（木）

☆トイレの利用については、いずれの日も行列して待つという状況には無く、現在の一基でも当面は対応できると思われる。

の看板を下げた。このトイレは、前原市（現糸島市）が地元住民や登山愛好家からの要望を受けて、平成19年4月に設置、供用開始した「簡易水洗型仮設トイレ」。管理については、「瑞梅時キツネノカミソリを守る会」が市から受託し、3月～10月には月2回、11月～2月に月1回清掃を行なっており、汲み取りは同会からの連絡を受け、随時市がバキュームカーで行なっているそうです（同市商工観光課から聴取）。

月日	調査項目	男性	女性	合計
7月31日(土)	調査時間	9:45～14:30		
	入山者数	231人	145人	376人
	トイレ使用者	47人	33人	
8月1日(日)	調査時間	8:00～13:00		
	入山者数	184人	227人	411人
	トイレ使用者	21人	44人	65人
8月5日(日)	調査時間	6:50～13:20		
	入山者数	43人	43人	86人
	トイレ使用者		7人	10人



(案内の看板)

* 英彦山トイレ調査に参加して (個人会員・高井カホルさんからの寄稿)

5月30日(日)、7時30分天神・日銀横を6名で出発。高住神社からのルートに登りました。

当日は山開きということもあり、神事が11時だったということもあり、登山中には早くも下山してくる登山者とすれ違いました。神事には間に合わず、11時40分に山頂に到着。神社の方に何うと登山者は300名ほどで、例年より少なめだとのことでした。昼食を済ませ、下山していく時に、周辺の木立の中を見るとかなりの使用済みのティシュペーパーが捨てられていました。ほぼレジ袋一杯になりました。

近年たくさんの登山者がいるなかで、一人一人が山のトイレについて考える時だと痛感しました。本日残念だったのは、この機会に山のトイレについてのPRができなかったこと。これだけの登山者が来る時にチラシなどを配ったら良かったのに。次回は是非!

* 井原山のオオキツネノカミソリの看板設置作業に参加して

(太田 勝 ・当協議会運営委員長)

本ページの英彦山トイレ調査について寄稿された高井カホルさんからの誘いがあり参加しました。高井さんは瑞梅寺キツネノカミソリを守る会の会員で、例年は清掃登山ですが、今年が同会の創立10周年となることから、オオキツネノカミソリの群生地には花の説明や諸注意を書いたタテ80センチ、ヨコ120センチの大きな案内板と注意書きをした小さなのを夫々3枚ずつ立てることになったそうです。

7月3日(土)雨の予報にもかかわらず、30数名の方が参加されました。何しろ大きいので当然支柱の穴の深さも80センチ!雨の中で泥と格闘しつつも設置作業は無事終了しました。瑞梅寺のふるさと体験館「のぞみ」に集い、楽しいお話を聞くことができ、当方協議会の活動について紹介させていただきました。県内に様々な自然保護団体があります。これらの団体の方々と連携しながらトイレマナーの啓蒙、自然保護活動を続けていければと思います。



月日	議 題	場 所
7/13 (火)	6/19 の第2回定期総会総括 新年度運営委員会スケジュール検討 新年度活動計画の具体的検討 「通信第5号」の発行スケジュール	さざんびあ 博多
8/14 (火)	井原山水無コース入山者 トイレ利用者調査結果報告 「通信第5号」の掲載内容検討 県民清掃ハイク・古処山トイレの現状報告	//

これからの活動とお誘い

● 県民清掃ハイク

日 時 10月17日(日)

山 域 宝 満 山

集合時間

および

場所

8時30分・竈門神社駐車場

(西鉄太宰府駅前発から8時15分発の

コミュニティーバス・まほろば号が便利です。)

問い合わせ 九州登山情報センターの太田まで

※ 今回はキャンプセンターで西鉄山友会有志がダゴ汁を準備
してくれまます。食器は用意されるので不要です。

是非参加してください!

山のトイレ協議会通信 第5号

発行日 2010年9月5日

山のトイレ、環境を考える福岡協議会

〒818-0115

太宰府市内山708番地

九州登山情報センター内

092(928)2729